

議会報告会（那須議会フォーラム）の 意見等に対する回答について

那須町議会では、8月18日（月）、21日（木）及び22日（金）の3日間にわたり那須議会フォーラムを開催し、ご参加の皆様から様々なご意見等をいただきました。

ご意見等は、各委員会で現地調査や所管課ヒアリング等を実施したうえで協議を行い、回答書を作成いたしました。

今後もいただいた貴重なご意見等をさらに精査し、各委員会で協議するとともに、町への要望や提言を行ってまいりたいと考えております。

議会報告会（総務産業常任委員会）

参加者から、自治会あるいは地域の課題に関するご意見等を多くいただきました。

総務産業常任委員会としては、これらの貴重なご意見等を精査し、今後の委員会で協議するとともに、町への要望を行ってまいります。

◎自治会関係

「自治会長の成り手が不足している」「自治会自体の存続が難しい」というご意見もあり、自治会の構成員の高齢化、参加者の減少などにより運営が苦しくなっている事を認識しました。自治会の存在は、地域の草刈りやごみ拾いなど町の環境整備に貢献してきただけでなく、ごみステーション管理や広報物の配布、地域防災など行政との連携の上でも重要であり、自治会の維持、存続は憂慮すべき課題であります。当委員会もこれを真摯に受け止め、自治会の負担軽減や運営方針など町と協議してまいります。

◎道路関係

町道全般についてのご意見や、各地区における道路、歩道、側溝などの要望がありました。要望のあった箇所については、当委員会は現地調査を行ったところであります。その調査を基に町に意見を伝えました。町も指摘箇所の確認を行う予定になっておりますが、委員会としてもその動向を注視しながら町への働きかけを続けてまいります。

◎観光関係

観光地の渋滞問題、トイレなど観光インフラ整備、道の駅那須高原友愛の森における子供たちが楽しめる場所の創出などのご意見をいただきました。観光を基幹産業の1つとして位置付ける本町においては、観光関係の課題解消は観光客だけでなく、そこに住む町民福祉においても必要であります。宿泊税の導入による、観光課題解消への対応が期待されますが、宿泊税に頼らず早急に

対応すべきものもあると考えます。これらについて町の方角性を確認し、観光課題の早期解消を要望してまいります。

◎農業関係

耕作放棄地、農業活性化、鳥獣被害対策などのご意見等をいただきました。当委員会は農業課題の解決に向けて協議を行っておりますが、特にクマを含めた鳥獣被害対策については、先進地視察を行うなどして理解を深めてきています。また 10 月には猟友会との意見交換会を開催し、鳥獣害対策における様々な課題を確認しました。これらの意見を取りまとめ、町への要望、政策提言などを行ってまいります。

◎ご意見等への回答

番号	議会フォーラム意見	議会の回答
1	大同から大日向にかけての町道の雑草や枝が通行の支障になる。どの自治会が対応しているのか。またはその道を管轄する自治会がないのか確認して対処してほしい。	町は自治会同士での確認をお願いしたいとのことです。自治会においては、高齢化や人員不足も深刻であるため、自治会のみ任せきりにならない美化活動の仕組みを考えていく必要があると考えます。
2	自治会長のみ手不足。(報酬アップなどの待遇改善)	町は自治会運営に関するアンケートを実施予定しており、まずは現状を把握するとのことです。 議会としてもこのアンケート結果を注視し、これからの自治会のあり方について考えていく必要があると考えます。
3	自治会加入者が減っている中、自治会の存続などの問題解決。	町は自治会運営に関するアンケートを実施予定しており、まずは現状を把握するとのことです。 議会としてもこのアンケート結果を注視し、これからの自治会のあり方について考えていく必要があると考えます。

4	民生委員のなり手がいない。自治会自体の存続が難しい早急に手を打ってもらいたい。	町は自治会運営に関するアンケートを実施予定しており、まずは現状を把握するとのことです。 議会としてもこのアンケート結果を注視し、これからの自治会のあり方について考えていく必要があると考えます。
5	配布物は今まで月2回。昨年アンケート調査が実施されたが回答がもらえていない。(配布物月1回等の意見)	町は予定している自治会運営に関するアンケートの結果とともに公開する予定とのことです。
6	自治会・公民館が弱体化している。もっと広域的な組織を考えていかないと存続が。 順まわりの自治会長は権限が限られている。又、役員のなり手がいない。	町は自治会運営に関するアンケートを実施予定しており、まずは現状を把握するとのことです。 議会としてもこのアンケート結果を注視し、これからの自治会のあり方について考えていく必要があると考えます。
7	道路舗装工事の際、3m未満道路は側線を入れない決まりになり、敷地入口付近に車が迫ってきて危険なため、危険性の状況に応じて側線を引いてほしい。	現行は側線を引かないが、必要性があるところは検討したい。
8	穂積公民館下の側溝整備。	現地の状況を確認して、道路部分なのか水路の改修なのかを検討したい。
9	りんどうラインの整備以外の町道整備を進めて欲しい。	りんどうラインのほかにも20か所以上の整備は行っている。
10	那須街道の遊歩道整備とサイクルロード整備。	県道なので県に働きかけている。
11	矢組地区の自治会長さんから、地元の道路の補修を町に要望したがやってもらえない。	現状を確認の上対処したい。
12	道普請事業も予算がなくなると次年度に再度申請して下さいと言われるが、優先的にやってもらえるのか。	予算の範囲内で基本は順番であり優先順位はない。次年度に新たな申請となります。
13	成沢地区の自治会長さんから、最終処分場付近の道路を整備してほしい。	道路の損傷、修復の必要性は認識しています。町とともに検討を進めます。

1 4	高久第7自治会長さんから、みふじ幼稚園付近の道路整備を要望しているが早く対応してほしい。	町は開拓道路の修復を定期的に行っているが、今後も損傷、修復は必要となり、議会としても開拓道路の修復経費予算について検討を進めます。
1 5	県道211号豊原・高久線に制限速度の標識及び道路に路面標示を設置してほしい。	那須塩原警察署の判断で現在は、標識などは設置する計画がありません。速度出しすぎの危険性は認識しています。議会としても安全性確保のために検討を進めます。
1 6	町道にはみ出た枝木は通行を妨げスクールバスにも影響がある。民間の業者などに調査してもらいたい。	町道にかかる枝木は個人所有など民法上の理由で、伐採が難しい状況があります。しかし危険箇所については、安全性確保のための対策を、議会としても町と一緒に検討していきます。
1 7	道路に歩道を設置するのはいいが、その後の管理がされていない。	道にかかる枝木は個人所有など民法上の理由で、伐採が難しい状況があります。しかし危険箇所については、安全性確保のための対策を、議会としても町と一緒に検討していきます。県道については必要が認められれば県に要望します。
1 8	道路の草刈りを業者がやってくれて助かっているが、もう少し幅広く草を刈ってもらいたい。30cm広く。	県道については、草刈りの範囲について規則があり、それに沿っての対応を進めていくことになります。
1 9	友愛の森に子どもが遊べる場所を作り、親子連れの誘客を図ってほしい。	友愛の森は那須の情報発信地的な要素が強く長期滞在を目的とはしていませんが、家族連れなどが多く訪れるため今後の外構整備の中で検討するよう要望してまいります。
2 0	友愛の森のトイレの故障を早急に対応してほしい。	町はトイレの故障などについては適時対応を行っていますが、予算の関係上遅れる事もあります。今後も適切な対応がなされるよう注視してまいります。
2 1	湯本のトイレがさびていたりして整備がなされていない。さびない素材、ステンレスやアルミを使って長く使えるように整備するべき。	町は宿泊税導入後の活用事業に観光地トイレの整備を含めていますが、議会としても適切に整備がなされるよう働きかけてまいります。

2 2	観光地、特に那須街道の枝木が大型バスの運行を妨げて危険である。せめて側溝から1 m の範囲でも枝落としが必要である。	那須街道の道路管理者である栃木県、樹木の所有者・管理者との兼ね合いもありますので、具体的な場所ごとに町と協議し要望を行ってまいります。
2 3	宿泊税について、キャンプ場やコテージは徴収対象になるのか。平等な宿泊税徴収を行ってほしい。	旅館業法の許可を受けたホテル、旅館、民宿、ペンション、簡易宿泊所及び住宅宿泊事業法に係る住宅（いわゆる民泊）に宿泊する方が納税者となります。旅館業法または住宅宿泊事業法の届け出をしている事業者が特別徴収義務者になります。
2 4	広谷地交差点から那須中学校までの渋滞緩和。	町は広谷地交差点周辺の渋滞緩和について道路改善要望を行っています。県は道路状況調査を行い、対策の具体化を進めています。
2 5	クマの出没に対するアナウンスや学校との連携などしっかりと行ってほしい。	町は教育委員会を通じ学校に、出没情報の伝達を行っています。また、目撃のあった後、猟友会の協力を得て、周辺の見守りを行っています。子どもたちの安全を図るため、適正な対応を今後も町へ働きかけてまいります。
2 6	鳥獣害被害対策のため設置したわなの盗難防止。（注意喚起看板設置依頼）	鳥獣害対策を推進するために、わな盗難防止についても周知活動などを町に訴えてまいります。
2 7	那須町農業振興地域整備計画に耕作放棄地の土地利用計画が示されていない。	農業振興地域整備計画については、県の計画に沿った形で構成されています。耕作放棄地の利用については所有者個人の事情もあることから、計画には含まれておりません。ただし、耕作放棄地が景観上あるいは周囲の安全上課題でありますので、議会としても耕作放棄地を増やさない、利活用する方策を検討してまいります。
2 8	地域おこし協力隊を活用して農業に特化した農業振興ができないか。	地域おこし協力隊は後の定住につながり、また農業に特化した地域おこし協力隊は担い手確保にもつながると考えます。

		地域おこし協力隊の方が農業で活躍するための仕組みや課題を、調査していく事が必要であると考えています。
29	移住して農業を携わる小さな農業にも支援ができないか。	農業人材の確保は本町においても課題となっております。移住して農業に携わる人や親元就農支援する効果的な施策を検討してまいります。なお、国、県も農業を開始する人の支援を行っていますので、これらの制度の利用を促進する事も必要と考えています。
30	田んぼ等の耕作放棄地が獣害、景観を悪くしている。対処方法を明確にし、周知してほしい。	耕作放棄地の解消には地域農家の協力も必要になってきます。議会としても耕作放棄地を増やさない、解消する方法について議論してまいります。
31	空き家対策、耕作放棄地対策に森林環境譲与税を活用できないのか。	森林環境譲与税は森林を対象とした制度となっており、制度上耕作放棄地などに利用する事はできません。耕作放棄地の中で木が大きくなり、周囲の環境に影響を及ぼすような場合は森林環境譲与税の利用が可能となります。
32	室野井地区消防団が休部。(令和6年11月に部長より要望) 今後の消防活動への対応と詰所管理。(勧誘の難しさ 今後の消防団活動のあり方)	今後の消防団のあり方については、町も各部の存続も含め団員の負担軽減など検討しております。
33	旧朝日小は指定避難所に指定されているが、校庭が使えず避難所として機能するのか。	旧朝日小の体育館が指定避難所であります。体育館前の駐車場ですが通常は町づくり広場の住民の方々の駐車場となっておりますが、避難所開設の際は避難所利用者の駐車場となるように協定しております。尚、逃室集会施設も指定避難所としてあります。
34	寄居地区は町の水道が敷かれたが、管が75mm以下なので消火栓が設置できない。防火水槽で対応しているが、その防火水槽も朽ちて管理がいき届いていない状況である。	寄居地区においては、近くに河川があり、水利不足ではないとの判断であります。防火水槽の金網のフェンスの老朽化について、町は要望により対応していきます。

3 5	防犯のために防犯カメラを設置してほしい。防犯カメラ設置の補助金も考えて欲しい。	防犯カメラの設置は必要であると考えておりますが、設置費用だけでなくその後の維持費もあり町は検討していく考えです。
3 6	那須塩原市駅前開発の様な、町民のための図書館などの開発に税金を投入してほしい。（黒田原駅前開発）	町の活性化につながる公共施設の在り方について、既存施設の活用も含め議論が必要であると考えています。 また、本町の図書館は築 45 年以上になっており、再編について町民の意見を取り入れながら整備されるよう町に働きかけてまいります。
3 7	黒田原地区の地域の活性化、年代的に継続できるのか。	各地区において高齢化が進み、様々な場面で支障が生じております。重要かつ非常に難しい課題であります。まずは地域の方々の意向を確認していく事が必要であると考えています。
3 8	閉校後の学校跡地において、校庭にある遊具は老朽化で危険である、撤去すべきである。	老朽化した遊具について、危険が生じている場合は速やかに撤去されるべきでありますので、町に対応を求めています。
3 9	旧芦野保育園も、町が責任をもって解体なり管理すること。	町の公共施設再編計画では旧芦野保育園を「解体」する方向性を示しています。計画に沿って実施されるよう議会も注視してまいります。
4 0	沢口、高瀬、板屋方面へ町の水道の普及をお願いしたい。	地域の皆様のご要望として町に伝えます。

議会報告会（民生文教常任委員会）

参加者から、高齢者支援あるいは教育など地域の課題に関するご意見等を多くいただきました。

身近な問題や地域の課題等に関する様々なご意見を民生文教常任委員会として、緊急性や重要性を伴う事案について考慮して町へ提言・要望してまいります。

◎福祉・高齢者支援について

高齢者の交通支援について多くの意見が寄せられ、定額タクシーや福祉タクシーの使い勝手の改善やデマンド乗合交通の利便性向上が求められています。

町では、免許返納された方に対し町内公共交通で利用できる回数券の交付や定額・福祉タクシーへの助成をしています。

また、デマンド乗合交通事業者と協議を進めており議会としても今後の制度改善を要望しています。

さらに、民生委員のなり手不足や独居高齢者の増加といった地域福祉の担い手不足の対応も課題と認識しておりますので委員会として更に調査し要望してまいります。

◎教育・地域づくりに関する取り組みについて

教育分野では、通学路やスクールバスの利便性向上、道德教育や地域愛の育成について意見が出されました。

町では、学校・家庭・地域が連携するコミュニティ・スクールを通して、地域の担い手育成の取り組みを進めています。

また、公民館や自治会の弱体化が進む中で、地域コミュニティの再編や活性化を視野に入れた協議を行う方向性も示されています。

委員会としても地域の活性化に繋がる取り組みを委員会として町と協議してまいります。

◎環境・生活基盤について

ゴミのポイ捨てや空き家の増加など、生活環境の改善に関する意見が多く出されました。

町ではポイ捨て罰則条例の制定は難しいとしながらも、宿泊税の活用による不法投棄対策や空き家相談窓口の案内など、現実的な対応を進める考えであります。

また、町民バスや道路整備の利便性向上、地域の周遊交通の検討など住民の生活基盤を支える取り組みについても引き続き委員会として要望してまいります。

◎ご意見等への回答

番号	議会フォーラム意見	議会の回答
1	小学校通学路のごみを子供や通学同伴者が拾っている状況である。ごみ罰則条例を作り、ごみ捨てを抑止してほしい。ごみのポイ捨てに対する道德教育がごみ捨て防止には必要ではないか。	町では条例はあるが罰則は難しい。また、子供の道德教育は幼少期から取り入れています。
2	町民バスが土日運行を行っていないため利便性が悪い。イベントに合わせて運行を可能にできないか。	土日運行は財政面及び運転手の確保等の観点から厳しい状況です。イベント等は、無料シャトルバスが運行されます。
3	福祉タクシーを使おうと思ってもタクシー会社から拒否されてしまい高齢者が困っている。タクシーアプリの導入などにより改善できないか。	利用できるタクシー会社が町には少ないので、利用できるタクシー会社の一覧表をご覧ください。配車アプリ導入は対応エリアがあるため今後検討が必要です。
4	民生委員として分譲地に高齢者を訪ねようとしても場所が分からず、管理事務所に聞いても教えてもらえない。高齢者訪問に対して、住所情報の共有など町や管理事務所の協力体制を作してほしい。	居住者本人から管理事務所・町に申告があれば情報共有など連携することは可能です。

5	スクールバスの利便性が悪い。指定のバス停で乗り遅れた際、別のバス停で乗せてもらおうとしても乗せてもらえない。池田から大沢間のバス停留所の配置も再度見直した方がよいのでは。	指定の乗り場以外でも乗車出来るよう要望し、学校教育課で委託業者に柔軟に対応できるよう申し込んでいます。
6	田代地区公民館が機能しておらず活動ができない状態である。町の職員が館長を務めるなど公民館活動を維持するために考えてほしい。	人口減少などによる役員のなり手がいない状況ではありますが、地域の活性化に繋がる取り組みを議会として提案してまいります。
7	民生委員のなり手がいない。自治会自体の存続が難しい早急に手を打ってもらいたい。	人口減少などによる役員のなり手がいない状況ではありますが、地域の活性化に繋がる取り組みを議会として提案してまいります。
8	タクシー券の配布支援拡大、一人暮らし高齢者が増加している中、支援団体などにタクシー券の配布支援を進めて欲しい。福祉タクシー券の使い勝手が悪い。(一回に使える枚数が制限されているため遠くには行けない) タクシー券はあるが一人暮らし高齢者のみ、昼間は一人の高齢者もいる。病院への交通手段がない。条件の緩和をしてほしい。	民生文教常任委員会で来年度予算要望を町に提出2年続けての予算要望をしています。
9	スクールバスの運用を柔軟に対応してもらえないか。子どもたちの乗車場所が決まっていて違う場所からは乗れない不便さがある。導入時のままの規則で見直しがされていない。学校からの距離による条件を見直ししてもらいたい。	指定の乗り場以外でも乗車出来るよう要望し、学校教育課で委託業者に柔軟に対応できるよう申し込んでいます。
10	高校生の送り迎えは町民バスなど利用できない地域だと家族の負担が大きい。	町民バスの運行は、財政面や運転手の確保等の観点から現行の路線での運行となっております。
11	那須中前にこども食堂があるが、町にもっと設置する考えは。	子どもの居場所づくりには重要な施設ですが、地域住民ボランティアが設置運営しているもので増設は難しいと考えます。

1 2	生きがいサロン運営のなかで、子供の居場所づくりが一緒にできないか。	地域住民が主体となり高齢者の地域交流の場として設置されているものですが、子どもの居場所づくりに活用することも一つの運営方法であると考えます。
1 3	空き家で草が生い茂っている。対処の仕方を周知してほしい。	所有者が対応する事が前提条件になります。対処の仕方を周知するよう町に伝えます。
1 4	空き家をなくす条例をつくってほしい。	空き家になるには、各家庭の事情があり、条例で規制することは難しいと考えます。
1 5	道路沿いに捨てゴミが多い。ゴミ拾いオリンピック等の行事を行いながらポイント制など活用しゴミ拾いの意識を高めて欲しい。	町は、「行事として行うことには住民が強制感や負担を感じるようになる可能性もある」と捉えています。今後は来年度導入予定の宿泊税を活用して、不法投棄等ごみ問題に取り組む方向を示しています。
1 6	自治会・公民館が弱体化している。もっと広域的な組織を考えていかないと存続が危うい順まわりの自治会長は権限が限られている。又、役員のなり手がいない。	町は、改善策として組織の負担を軽減するために、今後、それぞれ所管する組織から意見を聴取し、地域コミュニティの再編について協議していく方向を示しています。
1 7	少子高齢化が芦野は特に進んでいる。5年・10年先を見すえた行政を。 若者が便利な近隣の他市に移住してしまう。高齢者の支援を、町をあげてもっと手厚くするべき。	高齢者支援については介護予防、日常生活支援として、高齢者の交流促進、孤立防止目的に生きがいサロンの支援。移動支援としてデマンド型乗り合い交通、福祉タクシー料金を助成しています。議会としては、今後も若者支援、高齢者支援についてはより手厚い取り組みとなるよう町へ改善の要望をしていきます。
1 8	地元の大切さを子供の時から教育をしていき、地域を守っていくように植えつけていく。	町ではコミュニティ・スクールにおいて、学校、家庭、地域が、子供の教育に対する課題や目標を共有し、一体となって子供たちを育てる体制を築き上げる取り組みを行っています。議会として今後も町の担い手育成を応援していきます。

1 9	高齢者の免許証の返納の際のタクシー券を商品券にしてほしい。	免許返納された方に対して交通の移動手段の一助としてタクシー券を交付するもので商品券は今後の参考とさせていただきます。
2 0	福祉タクシーの予約がしづらい。もっと簡単にできるように。	予約は電話で行うだけ。利用できる事業者は多くあるので確認をお願いします。
2 1	定額タクシーの地域拡大と利便性の向上を。	町民の日常生活の利便性向上を目的にした事業であるため、今後指定目的地の拡大など要望していきます。
2 2	デマンドタクシーは芦野地区の人たちは対応しきれっていないので何かしら指導を。	デマンド型乗合交通の利便性向上のため町は事業者と今後ヒアリングを予定しております。
2 3	宿泊税が導入された。ここには芦野温泉があり、バスなどの周遊を考えてほしい。	湯本エリアから芦野エリアを周遊する路線は課題と考えておりますので、将来的に活性化させるために必要と考えています。
2 4	伊王野保育園にプールがない。他の保育園は。	伊王野保育園では簡易のプールで対応しています。第二保育園にはプールはあるが使用しておりません。また新しく開園した第一保育園ではプールはありません 保育園でのプールの運用は安全面や衛生面等を考慮して運営しております。

議会報告会（議会運営委員会）

参加者から、議員活動や議会報告会に関するご意見等をいただきました。

議会運営委員会としては、これらの貴重なご意見等を委員会で協議するとともに、今後とも議会改革に取り組んでまいります。

番号	議会フォーラム意見	議会の回答
1	一般質問を傍聴しても、議員活動を見ても信念が感じられない。 町民は蓮、ひまわりの栽培等信念を持って取り組んでいる。	信念が感じられないとお言葉、真摯に受け止めさせていただきます。
2	議会フォーラムの目的を明確に示してほしい。	今後は開催案内チラシ等で目的やテーマを明確に示してまいります。
3	議会報告会（議会フォーラム）での事前にテーマがあれば準備してこられる。	今後は開催案内チラシ等で目的やテーマを明確に示してまいります。
4	町づくり懇談会と、この議会報告会がおなじようである。もっと違いをだしては。	まちづくり懇談会との違いを出せるよう、開催方法や内容を検討してまいります。